

プログラム名									
防災・復興人材特別プログラム(地域創造学類)									
プログラムのCP(教育課程編成に関する基本的考え方)									
本プログラムでは、自然災害と防災・復興とその支援を含む地域再生及び地域創造に関連する専門教育科目を体系的に編成する。									
教育内容・教育方法(教育課程実施)に関する基本的考え方									
1. 教育内容 (1)自然災害の発生メカニズムと地域社会への影響について学ぶ。 (2)防災と復興に関する基礎知識について学ぶ。 (3)被災地支援・被災者支援に関する地域創造学的な知識と技術について学ぶ。 (4)被災した地域や人々を支援することを自分事として行動できる態度について学ぶ。 2. 教育方法 (1)講義(一部実習等を含む)にて実施する。									
プログラムを構成する科目 ※1									
科目番号 ※2	授業科目名 ※3	学修目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4		
(77656)	(防災・復興学入門A)	多様な自然災害のメカニズムや対応策・課題を地球科学、社会基盤学の観点から総合的に理解することで、自然災害に対する問題意識を喚起する。合わせて、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を地域創造学や観光学等の多角的視点から学修する。	1～4		○				
(77657)	(防災・復興学入門B)	学校における安全管理・安全教育、災害に伴う医療・福祉・保健事業支援等について対応策や課題など、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を教育学、保健学等の観点から学修する。さらに、防災士として将来地域社会で活動することを見据え、その際に必要となる基礎的な知識やスキルを実務者からの講義や演習を通じて身につける。	1～4		○				
35A19 (77649)	防災・復興論 (防災・復興論)	災害発生後の復旧・復興、災害を想定した防災・減災について理解し、主体的に行動するための知識や技能、態度を修得する。	1～4		○				
35A20 (77650)	災害時マネジメント論 (災害時マネジメント論)	大規模災害発生時の組織の役割と対応、被災者支援やボランティア対応などの支援マネジメントについて理解する。	1～4				○		
35A05	自然環境基礎論	日本・世界の自然環境の分布・形成史・相互関係についての理解を深めると共に、自然環境と人間社会との関連性へ着目できるようになる。	2～4	○					
35A10	防災・減災と地理学	自然災害の自然科学的側面についての理解を深めるとともに、災害に対応して、防災・減災を進めるための、人文・社会的側面、すなわち地域のありかたや防災活動・教育のありかたについて考える。	2～4			○			
35A18	河川環境論	河川を中心とする環境について、自然特性と人の営みの双方向の関係を解説し、流域まちづくり・国土保全のあり方について考える。	2～4		○				
35B27 (77648)	地域再生論(地域再生論)	人口減少・過疎時代を迎えた地域にあって人々が安心安全に暮らし続ける方策、災害からの再生について学修する。	2～4						
35B06	地域居住論Ⅰ	地域の居住環境を構成する建築・都市の主要な要素(都市計画、住まい、景観、交通、防災等)を対象に、各要素の役割や基本的な計画理念の学修を通じて、地域課題の発見や解決策の検討に必要な基礎知識を修得する。	2～4	○					
35D15	農村計画論Ⅰ	わが国の農村の特質と農村計画、土地利用計画と生活環境整備について学ぶ。	2～4	○					
35D16	農村計画論Ⅱ	わが国の農村の特質と農村計画、農村環境の保全と管理、撤退の農村計画について学ぶ。	2～4		○				
35D05	地域社会のリスクガバナンス	地域におけるさまざまなリスクやとらえかた、対策について学ぶ。	2～4		○				
35C29 (77647)	ダイバーシティ論 (ダイバーシティ論)	多様な属性を持った人々が差別なく安心して暮らす方策、緊急時の避難所生活等において個人が尊重されて生活する方策について学修する。	2～4						
35D09	介護政策論	介護の概念と対象、高齢者ケアの歴史過程、災害時における要介護者への対応を理解する。	2～4			○			
35E16	地域社会とジェンダーⅠ	地域社会におけるジェンダーの状況の現状と課題を検討する。	2～4			○			
35E27	非営利組織運営論	市民を主体に構成される非営利活動組織の活動・活動成立の背景・組織運営形態について解説し、公益的価値について考える。河川分野を主対象に環境保全・防災活動等を中心に学修する。	2～4		○				
35A21 (77651)	災害復興支援実習 (災害復興支援実習)	自然災害が発生した被災地において、被災者支援を体験的に学び、被災者に寄り添う支援を学ぶ。	1～4			○ (集中)			
15074	地域創造プロジェクト実習B <復興支援ボランティア>	能登半島地震で被災した地元住民の声を集約し、集落や地域の声として把握し、住民自身の意思決定に寄与することができる。	1～4	○	○	○	○		

※1 他学類開講の授業科目は、当該授業科目を開講する学類等のカリキュラム・マップで確認してください。

※2 ()は共通教育科目の科目番号

※3 ()は共通教育科目の授業科目名